



森上 晋平

質問
本市は企業誘致に注力すべきでは

答弁
本市の環境に合った企業誘致は必要と考える

問
税収増の観点からも、今後、戦略的に企業誘致や既存の地場企業の発展に注力すべきと考えるが、市の見解は。

答
「子育てしながら働きやすい環境を作ることができる企業」の誘致や、新しいライフスタイルに合わせた働き方ができるような環境の創出に注力していきたい。

問
直方市では「デジタルトランスフォーメーション推進プラン」を策定し、IT事業者の積極的な誘致を進めている。本市の見解は。



IT企業の誘致に注力し始めた直方市役所

答
本市においては、デジタルトランスフォーメーションの推進に関する明確な方針がまだ決まっていない。IT事業者の誘致を含め、デジタルトランスフォーメーションをどのように推進していくかの方針決定が急務だと考えている。新たな財源の確保や雇用の創出のためにも、本市の環境に合った形での企業誘致は必要である。

【その他の質問】
・コロナワクチン接種の推進は
・SDGs 未来都市計画について
・下水道事業について
・GIGAスクール構想について
・過大規模校問題について



横山 良雄

質問
交通事故や犯罪をなくす対策は

答弁
市民の命を守る政策を進めていく

問
人口増加に伴う自動車、バイク、自転車の利用者は増加傾向にあるが、事故防止の安全対策は。

答
福岡南、神興東、津屋崎において人身事故の発生件数が増加傾向にある。宗像警察署から現場検証の情報をいただき、事故の原因を考える。現在の道路施設の安全性が担保されているか、どこに危険が潜んでいるかを確認し、対策を打っていく。

問
自転車事故は、コロナ禍による利用者の急増で約3倍増である。



自転車安全教育指導者講習会の様子

答
各小中高に自転車安全教育指導者を、少なくとも一人置けないか。
答
小・中学校の校務分掌の中で指導者の位置づけも検討したい。

▼防犯対策について

問
文部科学省が示す学校の危機管理体制整備と地域の実態に沿った危機管理マニュアル作成はしたのか。

答
マニュアルはあるが、地域の実態に沿った訓練の徹底はできていないと考えている。今後、文部科学省のマニュアル作成の手引に基づき、地域の実情に合った防犯教育、防災教育を進めていきたい。



秦 浩

質問 光の道沿線にグリーンベルト計画は

【答弁】安全確保の観点から進めていきたい

【問】市の観光名所である、光の道沿線の宮司コミセンから海岸までの路側帯が消えていて、非常に危険である。この付近は歩道もなく観光客も増え、大型の路線バスも通るようになった。安全対策のために、歩行者用グリーンベルトを引く計画はないのか伺う。

【答】路線バスも通るようになり、利便性が上がったが安全性が低下している。安全確保の観点から、歩行者用グリーンベルトは視覚に訴えるという点で有効である。その方向で進めていきたい。



安全確保のための歩行者用グリーンベルトを

質問 ▼教育環境と施設の整備について

【問】なまずの郷や体育センター等の施設を、中学校の部活動が練習できる施設として優先的に借りることができないか伺う。

【答】学校から離れていることから、教職員の負担が増えることや、希望の練習時間に利用されている団体等があるという課題がある。学校および指定管理者を含む担当部局と協議していきたい。

【問】通学路の安全対策を伺う。

【答】通学路交通安全プログラム中で危険性の高い所から対応している。



中村 清隆

質問 東福間駅周辺の再生計画の実効性は

【答弁】重点施策なので事業化していくことが必要

【問】東部下水処理場跡地の活用、津丸踏切の歩道拡幅の考えは。

【答】地域の希望は、駐車場だと認識。また、津丸踏切は歩道拡幅の方向でJＲと協議中である。

【問】今後の計画の進め方は。

【答】現在、官民連携の事業実施に向けて、民間資金等活用導入可能性調査を行っている。
今後は、地域や市民に見える化を行いながら、知らせていくことが必要と考えている。



重点施策である東福間駅周辺地域にぎわい再生計画の早期実現を

質問 ▼コロナワクチン接種と感染症対策について

【問】3回目は、交互接種や6カ月経過での接種も考えているのか。

【答】現時点では、ファイザー社製が薬事承認を受けている。今後、モデルナ社製も承認を受ければ使用することになる。原則8カ月以上経過した人への接種となる。

【問】イベントや施設利用等で、ワクチン接種済証等の必要性は。

【答】ワクチン検査パッケージについては、感染防止対策を徹底しながら、感染状況に応じて考えていく。



石田 まなみ

質問 ぐらしの中の悩みの相談先は

市役所本館1階の総合案内が最初の窓口

問 デジタル化が進み、証明書発行などの窓口業務は減少するが、地域住民にとって相談などを受ける窓口は今後も重要だ。市の現状は。

答 直接各課の窓口で対応する場合と、本館1階の総合案内から各担当課につないだり、他の相談窓口の連絡先を記載したチラシを渡したりするなどの対応をしている。

問 他の自治体では、来庁者に対して声掛けをするなど、寄り添った対応を心掛けているところがある。また、どんな内容の相談も受

けるコールセンターの設置や、行政相談を平日開設している自治体もある。また、その周知についても行政の広報紙の目立つ部分に掲載している。参考にしてはどうか。

答 本市の行政相談員による行政相談は、毎月第2水曜日にふくとぴあで開催している。庁舎内のそれぞれの部署での細かい相談や要望については、その概要や対応を課ごとに記録するなど、部署内で情報共有してよりよい窓口サービスを目指している。広報紙に関しては、レイアウトの改善などを含め調査研究していく。



近隣市の相談室



下山 昭博

質問 教育の機会均等にに向けた取り組みは

教育委員会として小・中各1校の新設を提案

問 過大規模校における教育の機会均等に係る課題および長期的・短期的な解決に向けた取り組みは。

答 課題は、特別教室や体育館等の施設・設備の利用面からの教育活動における制約である。教室不足のため特別教室を普通教室に転用していること。また、体育館、運動場、保健室、図書室、職員室等の広さが十分に担保されていないことである。

解決策として、短期的なソフト面では人的支援を、ハード面では施設の増築と改修を考えている。



旧図工室を二つに区切って特別支援教室に転用

長期的には、小学校1校と中学校1校の新設を目指していく。

▼地域コーディネーターについて

問 地域コーディネーターの位置づけと役割、そして成果は。

答 地域と学校をつなぐ窓口として位置づけ、地域人材の発掘や学校との連絡調整、地域ボランティアの集約や分配等の役割を担っている。成果は学習の深まり、教職員が児童・生徒と関わる時間の増加等である。統括地域コーディネーターの配置で、中学校区の情報共有や地域コーディネーター育成、地域とのつながりが継続されている。



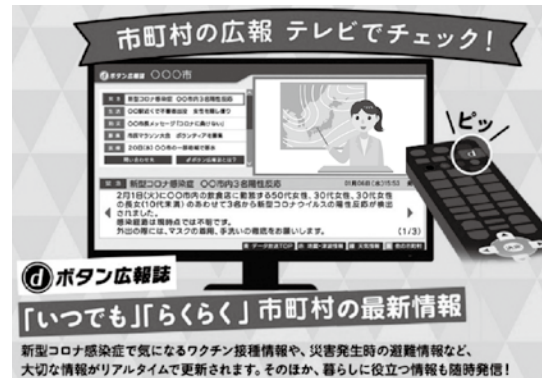
田中 純子

質問 より多くの市民に 伝わる情報発信は

答 各媒体の特徴を生かし
補完しながら工夫する

問 市の情報発信の媒体として広報紙、ホームページ、LINE、防災すまっぽんなど様々な媒体がある。主なものは広報紙とホームページであるが、ホームページが分かりにくいという声も聞く。掲載内容について、市内部で情報共有するための場や機会はあるのか。

答 令和2年度にホームページをリニューアルし、担当者を集めて説明会を行ったが、全庁的に集まる会議の場はない。今後は広報紙も含め、全庁的に共有できるものを検討していきたい。



市の最新情報をテレビで見ることができるよう

問

災害など緊急時に、最新の情報をより多くの市民に伝わるように発信していくためには、テレビのデータ放送を使った（某テレビ局のdボタン広報）が有効と考える。高齢者はインターネット等を操作できず、ホームページを見ることができない人も多い。コロナワクチン接種予約でも、ホームページを見ることができず、不安が増し混乱したのでは。テレビで手軽に最新の情報を得ることができれば安心につながる。導入の検討を。

答

放送局が1社のみ、年間費用150万円という課題がある。近隣の状況も見て導入努力をしたい。



蒲生 守

質問 海の安全対策と 保全のための予算は

答 安全安心な海を実現するため予算は必要

問 水上バイクによる死亡事故が市で発生している。規制は可能か。

答 市での規制は難しいので、県迷惑行為防止条例で対応。現在、県に対して、規制強化とともに海岸関係の予算措置を要望している。

問 海水浴利用者の安全対策はできているか。市の関わりはあるのか。

答 これまで地元業者の尽力で守られてきた部分が多い。今後は市も関わり、関係者と海の安全を守るために取り組みたいと考えている。



AED 設置をしているのは一軒だけ

問

海周辺駐車場の管理は。また、海のごみ対策予算の現状は。

答

駐車場の有料化は研究している。予算は、アオサ対策の重機作業を年2回で113万円、海岸清掃で533万円を計上している。

問

海予算の創設の考えはあるか。

答

多くの方に海に来ていただき、安全で安心して利用できるような予算編成が必要と考えている。

【その他の質問】

・中小企業の支援について



中村 晶代



質問

コロナ感染再拡大の対策は

答弁

3回目ワクチン接種を万全な体制で取り組む

問

新たな変異株が現れ、3回目のワクチン接種が急がれる。接種時期や対象者、円滑な予約体制は。

答

3回目の接種対象者は、2回目接種から原則8カ月経過する18歳以上の人で、接種券は2回目接種を受けた順に届く。医療従事者に接種後、市民への接種は2月からの予定。事前アンケートを踏まえ市が予約代行を行い、電話予約の殺到を防ぐ対策を検討している。

問

再び感染拡大した場合、自宅療養者への支援策は。



利便性の向上と工夫で投票率アップを

答

新たな施策として、県と連携し自宅療養中の希望者に食料品や生活必需品を支給する。命を守るため、緊張感のある体制で対応する。

▼選挙投票率向上の取り組みは

問

若年層や全世代の投票率向上のため、「選挙割」導入や利便性の高い場所での期日前投票所の増設を考えてはどうか。

答

主権者教育の充実や遠方に住む大学生等に不在者投票の周知に努める。「選挙割」は選挙本来の目的から逸脱しない範囲で見守る。期日前投票所の増設はシステム構築や人員体制など課題がある。



福井 崇郎



質問

教育委員会の新設校案は市長合意の上か

市長答弁

その通り、合意の上で方針を決定している

問

地区毎の人口構成・動向を踏まえた今後の小・中学校の配置は。

答

福間中学校区は、児童・生徒数が急増している。今後の推計も踏まえ、過大規模校解消・緩和には、小・中学校1校ずつが必要である。

問

今後の新設校建設に向けた方向性および進め方、スケジュールは。

答

教育委員会より市長に学校教育施設整備に係る申出を提出済だが、一刻も早く市の方針を定める必要がある。目標としては、令和



新設校ができるまでの学習環境整備を

問

4年度に事業着手し、令和9年度の開校を目指して進めたい。
令和9年度までに新設校を間に合わせるための意気込みは。

答

(教育長) 市民に納得できる形で、早期に学校新設校計画を決定し、建設に向けて進めたい。
(市長) 教育環境改善に向けて校区再編も含め、地域や保護者に理解していただき、9年度開設を目指して早期に取り組む決意である。

【その他の質問】

・地域共生社会をどう実現するか
・第三次行財政改革大綱策定は



榎本 博

津屋崎行政センターの の今後は

答弁 サービス低下を招かない方法を検討する

問 津屋崎行政センターの廃止に至った経緯は。

答 平成29年度の庁議において、令和3年度中に廃止か継続かを検討することとなっていた。今年度6月の庁議で津屋崎行政センターの業務の代替案があがって廃止の方向で決定し、議会へ報告した。9月定例会の一般質問で、津屋崎行政センターを今後どのようにするか多くの意見をいただき、廃止の時期については留保という形で今後の行政センターのあり方をさらに庁内で協議し、進めていきたい。



市民にとって安心できる相談窓口を

問

行財政改革審議会で津屋崎行政センターの諮問を取り消したが、市の見解は。今後、郷づくり推進協議会と行政センターを共有する案もあるが、相談窓口などの考えも含め市の考えは。

答

審議会に諮り、パブコメ等で市民の意見をくみ取っていくべきだった。今後は、行政センター利用者や市民の意見を聴いて進めていきたい。また、福祉などの何らかの安心できる相談窓口を考えていきたい。

【その他の質問】

・地域自治について



尾島 武弘

市民から寄せられた パブコメの内容は

答弁 92件のうち67件が中央公民館に関する意見

問 行財政改革に対する市民からのパブリックコメントの内容は。

答 寄せられた内容は、67件が中央公民館に関するものであった。生涯学習の拠点33件、避難場所として必要20件、郷育カレッジや市民活動・地域活動の場、耐用年数に達していないなどの意見があった。

問

行財政改革審議会での市長発言は、審議会規則を遵守した行為か。

答

出席要求なしに発言した事は、軽率なところがあつたと思う。今



市民からのパブリックコメントで存続の意見が多く寄せられた中央公民館

後は、しっかりと審議が行われるように配慮をしていく。

▼空き家対策について

問 空き家の草木の繁茂等、管理不全に対する苦情への対応は。

答

所有者に何回も連絡し、適正管理をお願いしている。

▼農業用ため池および農業施設等の管理状況と課題について

問

ため池が決壊したときの、住民への周知や避難対策の現状は。

答

ため池のハザードマップを作成し、影響する地域の各戸に配布中。



戸田 進一



質問
降雨時のしっかりとした治水対策は

答弁
必要なものは県と連携あるいは問題提起する

問
本市の治水対策で優先的に取り組む予定の地域と計画を伺う。

答
開発で雨水流入が増大している井尻川水系と堅川水系について、優先的に取り組みたい。井尻川水系の百田池では低水位管理（大雨時の一時的雨水貯留）を調査中。

問
井尻川は、他に二つの流入経路（花見市営住宅エリアと竹尾上池からの流入）があるが、対策は。

答
他の河川へ分水できないかなどの調査をしているところである。



治水対策を（花見地区、井尻川）

問
堅川の排水ポンプ場は耐水浸水対策、監視カメラ設置が必要では。

答
今後、策定予定の雨水総合管理計画にて、検証を含めて検討する。

問
県主催の西郷川の流域治水協議会に日時野地区浸水問題、師匠田土砂問題をのせ、県と連携し対策策定を協議すべき。見解を。

答
西郷川は浚渫などを要望している。今後、師匠田は問題提起する。

【その他の質問】
・地域分別収集について
・新設校建設計画について



賛否表



下記議案については全員賛成で可決

- | | |
|--------|--|
| 議案第41号 | 令和3年度福津市一般会計補正予算(第5号)について |
| 議案第42号 | 令和3年度福津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について |
| 議案第43号 | 令和3年度福津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)について |
| 議案第44号 | 令和3年度福津市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について |
| 議案第45号 | 令和3年度福津市公共下水道事業会計補正予算(第2号)について |
| 議案第46号 | 宮司コミュニティセンターの指定管理者を指定することについて |
| 議案第47号 | 福津市複合文化センターの指定管理者を指定することについて |
| 議案第48号 | 福津市国民健康保険条例を改正することについて |
| 議案第49号 | 福津市まちおこしセンターの指定管理者を指定することについて |
| 議案第50号 | 福津市総合運動公園、久末総合公園、あんずの里運動公園及び宮の元公園の指定管理者を指定することについて |
| 議案第51号 | 令和3年度福津市一般会計補正予算(第6号)について |

議会だよりの感想をお寄せください

議会だよりの読者アンケートにご協力をお願いいたします。



アンケートはこちらから！

スマホで簡単アクセス！
左のQRコードからアンケートページへお進みください。

WEBアンケート
簡単3ステップ

STEP1
スマホでQRコードを
読み取る

STEP2
アンケートに答える
(所要時間約3分)

STEP3
(完了) ボタンを
押して終了！

回答期限
令和4年3月15日まで

いただいた内容は、
今後の議会だよりの
改善に生かします。



議会を傍聴してみませんか

次回定例会のお知らせ

2月22日(火) 開会
3月16日(水) 閉会予定

日程等は変更になる場合があります。
また、新型コロナウイルス感染症対策のため、
傍聴人数を制限させていただく場合があります。最新情報はこちらへ。



託児サービスがあります

傍聴希望日の5日前まで(土・日・祝日除く)
のお申し込みが必要です。詳しくは、議会事
務局(0940-43-8144)まで。

議会の動画を配信しています

本会議の様子をインターネットで生中継・録画
配信しています。スマートフォン・タブレット
でも視聴ができます。

陳情・請願の 受付締切

3月定例会の受付締切は、
2月10日(木)正午です。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

市民の皆様にとりまして、本年が幸多き、良い年となり
ますことをご祈念申し上げます。さて、ここ二年、市議会
では新型コロナウイルス感染症への予防対策を講じなが
ら、定例会で主に市長が提出する議案に対し、議員が「市
民にとってどうなのか」という視点と議案の可否を決める
のは議会であるとの矜持を携え、チェック機能を発揮し、
是々非々で審議を尽くしています。また、一般質問では議
員が市長と建設的な政策論議を展開しており、本年も市議
会に熱い視線を注いでくださいますなら幸いです。

福津市議会議長 江上 隆行

議会から新年のごあいさつ

ふんちゃんを探せ！
ふんちゃんクイズ 答え



① 2月22日
② 5人
③ 市議会
④ 宮司地区郷づくり
推進協議会

「冬」は1年の終わりでもあり、新しい年
の始まりでもあります。この絵は、八社参
りの最後に宮地嶽神社を訪れ、松ヶ枝餅を
食べながら、この1年も家族で仲良く頑張
ろうと気持ちを新たにしている場面です。
年の初めにここを訪れると気持ちが引き締
まります。
令和4年は、福津市に住む人にとって、
これまで以上に良い年になるようにといっ
て、願いを込めてこの絵柄にしました。

〈徳永さんのコメント〉

今回の表紙絵は、親子三代で宮地嶽神社
に初詣し、日本一の大鈴堂前の茶屋で仲良
く松ヶ枝餅を食べているほのぼのとした情
景です。

ぎかいだより
福津市議会 No.68



目で見ると読む予備知識を要する

作者 徳永 響音
福岡東中学校1年

議会広報調査特別委員会

委員長	副委員長	委員	発行責任者
江上 隆行	福井 崇郎	中村 晶代	秦 浩二
尾山 昭博	八尋 武弘	島 浩二	山 昭博

また、社会が便利になり多
様化すればするほど、難しい
言葉が生まれ、四苦八苦して
います。そのため、時代の進
化と共に人間自身の進化も必
要と思われず。
一人も取り残さない社会実
現のためにも、議会だよりで
は市民に分かりやすく伝える
ことを一番に考えて編集して
いきます。(八尋 浩二)

寒さも一段と厳しい時期と
なりました。
議員になって3年が経ち、
議会広報調査特別委員会に所
属して1年が過ぎました。ア
ナログ系の私は、議会やマス
コミで耳にする難解な専門用
語に困惑することが多々あり
ます。

編集後記